

◆ 今週のコメント

- ・百日咳の報告は、1例(4歳)で、本年の累積報告数は25例となっています。過去7年間(平成12年～平成18年)の同時期(9～24例)と比較して、本年は最も多くなっています。
- ・腸管出血性大腸菌感染症の報告が3例あります。本年の累積報告数は29例で、本年の推移を月別にみると、今月の10例が最も多くなっています。8月の報告数を血清型別にみると、O157(VT2)5例が最も多く、O111(VT1)3例、O157(VT1VT2)2例となっています。
- ・レジオネラ症の先週追加分の報告が1例あります。本年の累積報告数は12例で、過去7年間(平成12年～平成18年)の同時期(0～4例)と比較して、本年は最も多くなっています。
- ・バンコマイシン耐性腸球菌感染症の先週追加分の報告が1例で、本年の累積報告数は2例です。耐性遺伝子はVanB型(血液から検出)です。平成11年4月に本感染症が全数報告対象となって以来、今回を含め9例(平成17年2例、平成18年5例)の報告があります。

◆ 今週のトピックス:〈後天性免疫不全症候群〉

- ・平成19年1～6月の累積報告数は8例で、平成12年から18年までの同時期(3～11例)と比較すると、本年は平成18年について多くなっています。詳細は、トピックスに掲載しています。

◆ 麻しんの発生件数の把握について

- ・今週の麻しん全数発生報告は3例です。5月25日から始まった市内全医療機関からの麻しん発生件数(成人麻しんを含む。)については、別紙「京都市麻しん全数発生報告」に掲載しています。

◆ 発生状況

全数報告の感染症

- ・二類:結核 17例(肺結核 8例, その他 9例)(第25・29・32・33週追加分を含む)
- ・三類:腸管出血性大腸菌感染症(O157 VT2) 3例
- ・四類:レジオネラ症(肺炎型) 1例(第33週追加分)
- ・五類:バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1例(第33週追加分)

定点報告の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ	インフルエンザ	0.01	1
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	2.76	113
	② ヘルパンギーナ	0.63	26
	③ 突発性発しん	0.61	25
	④ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.27	11
	④ 水痘	0.27	11
眼科	流行性角結膜炎	0.20	2

病原体情報

検出病原体(報告数)	臨床診断名(採取週)	検出病原体(報告数)	臨床診断名(採取週)
コクサッキーウイルスA3型 (4)	腸重積症(第32週)	RSウイルス(1)	下気道炎(第33週)
	不明(第31週)		
	上気道炎(第30週)	アデノウイルス1型(1)	かぜ症候群(第32週)
	感染性胃腸炎(第30週)		

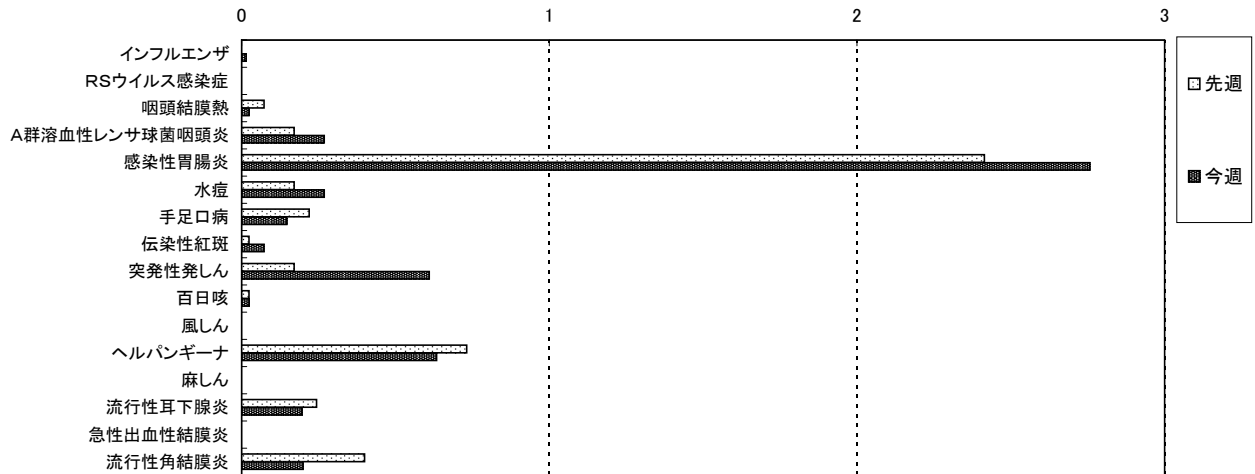
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス:〈後天性免疫不全症候群〉 / 京都市麻しん全数発生報告付表(疾病, 保健所別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

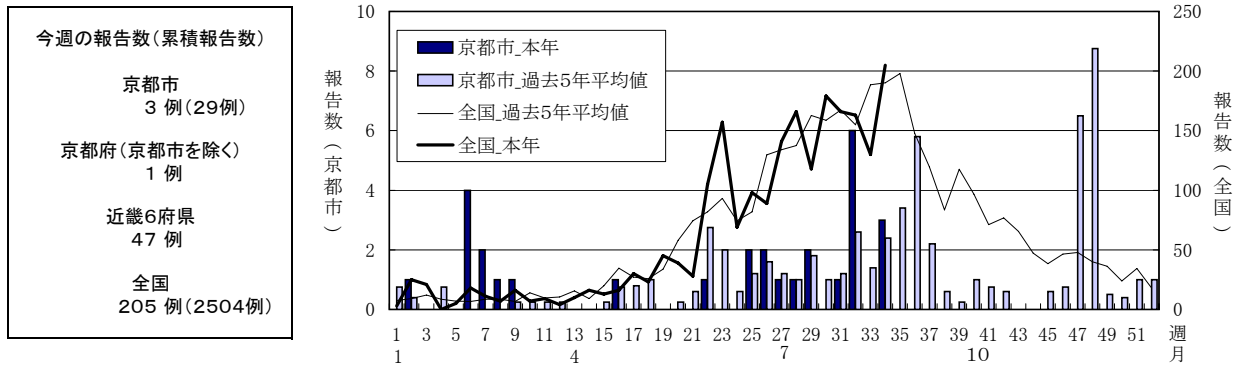
(注) 京都市のデータは、平成19年8月31日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。また、本情報での患者数は、届出医療機関所在の保健所での集計で、患者の住所を示すものではありません。病原体情報は、病原体定点等から京都市衛生公害研究所へ搬入された検体から検出された病原体です。

◆ 発生状況の概況グラフ

1 今週(第34週)と先週(第33週)の定点当たり報告数の比較

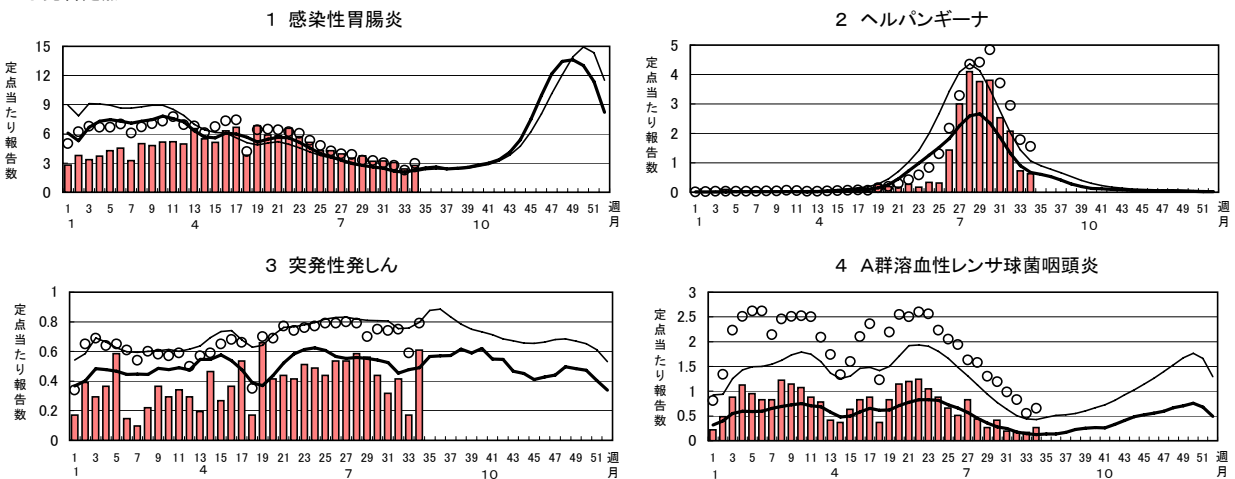


2 腸管出血性大腸菌感染症(三類感染症)の推移

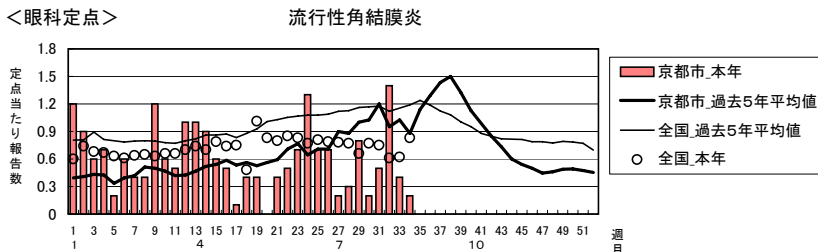


3 主な感染症(小児科)の定点当たり報告数の推移

<小児科定点>



<眼科定点>



今週(第34週)のトピックス:〈後天性免疫不全症候群〉

平成19年1月～6月の累積報告数は8例で、平成12年から18年までの同時期(3～11例)と比較すると、本年は、平成18年について多くなっています。年間報告数では、ばらつきがあるものの、平成18年が最も多くなっています。全国においては、HIV感染者、AIDS患者ともに、平成18年が最も多く、特にHIV感染者では、増加傾向が顕著となっています。

平成19年1月～6月の累積報告数をみると、次のとおりです。

- 1 病型・性別では、HIV感染者、AIDS患者ともに同数で、全て男となっています。全国でも男が多くなっています。
- 2 病型・年齢階級別では、HIV感染者は20歳代で2例、30歳代で2例の報告があり、AIDS患者は、20歳代～50歳代以上の各年代に1例の報告があります。全国でも、HIV感染者は20～30歳代に多く、AIDS患者は、20歳代以降の各年代に報告がばらついています。
- 3 病型・推定感染経路別では、HIV感染者では、性行為(同性)で3例、性行為(異性)で1例の報告があり、AIDS患者では、性行為(異性)で2例、その他で2例の報告となっています。全国では、HIV感染者は性行為(同性)で最も多く、AIDS患者では、性行為(異性)、性行為(同性)がほぼ同程度の報告となっています。

京都市では、各保健所で週に1回、HIV(エイズ)検査を無料で行っており、下京保健所では、毎月第2、第4木曜日の夜間にもHIV(エイズ)即日検査(要予約)を行っています。また、第1、3日曜日は、ヤサカ河原町ビル7階にてHIV(エイズ)検査(要予約)を行っています。詳細については、地域医療課のホームページ(<http://www.city.kyoto.jp/hokenfukushi/iryuu/index.html>)をご覧ください。

京都市及び全国の平成12年以降の1月～6月の累積及び年間報告数

	京都市				全国		
	1月～6月の累積			年間 ()はHIV感染者	年間		
	HIV感染者	AIDS患者	小計		HIV感染者	AIDS患者	小計
平成12年	1	2	3	6 (3)	462	329	791
平成13年	4	1	5	6 (4)	621	332	953
平成14年	3	3	6	9 (5)	614	308	922
平成15年	4	2	6	11 (9)	640	336	976
平成16年	5	0	5	21 (19)	780	385	1,165
平成17年	2	2	4	9 (6)	832	367	1,199
平成18年	6	5	11	25 (17)	952	406	1,358
平成19年	4	4	8	—	—	—	—
総計	29	19	48	87 (63)	4,901	2,463	7,364

※ 報告年月日での集計

京都市及び全国の平成19年(1月～6月)の累積報告数

(病型別、性別、年齢階級別、推定感染経路別)

	京都市(n=8)		全国(n=688)		
	HIV感染者	AIDS患者	HIV感染者	AIDS患者	
性別	男	4	4	457	176
	女	0	0	40	15
年齢階級	10歳代	0	0	3	0
	20歳代	2	1	136	18
	30歳代	2	1	223	62
	40歳代	0	1	84	49
	50歳代以上	0	1	51	62
推定感染経路	性行為(異性)	1	2	114	63
	性行為(同性)	3	0	323	70
	静注薬物使用	0	0	3	0
	その他	0	2	59	56

京都市麻しん全数発生報告

京都市独自の調査による、市内全医療機関を対象とした麻しん(成人麻しんを含む。)の報告数を掲載しています。5月25日から9月2日までの報告を初診週別に集計しています。

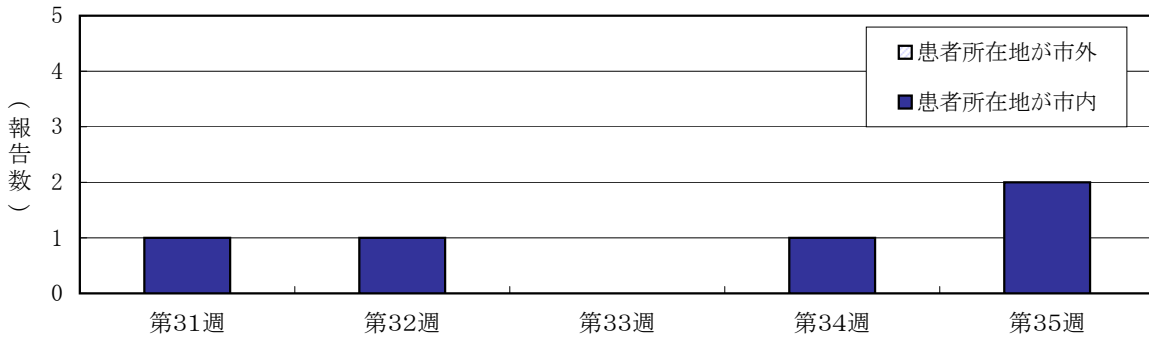
なお、今週報告分、第35週の2例(13歳, 14歳)は、ともに定点医療機関からの報告例で、定点医療機関からの累積報告数は、4例となっています。

1 推移

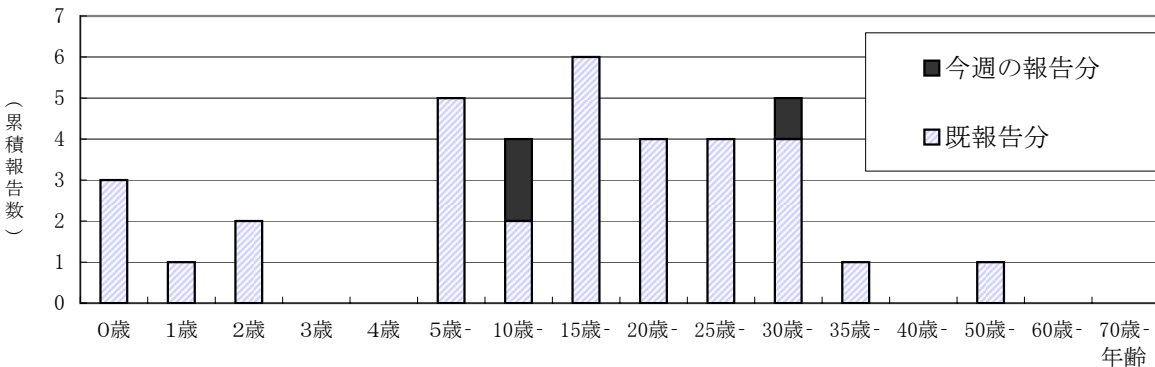
	初診週	第31週	第32週	第33週	第34週	第35週	累積報告数 (第17週以降)
今週の報告分		-	-	-	1	2	3
既報告分		1	1	-	-	-	33
合計		1	1	-	1	2	36

2 患者所在地別推移

初診週別報告数の推移 (最新5週分)



3 年齢階級別



<参考> 感染症発生動向調査による定点医療機関からの報告数の推移

市内定点数:麻しん(小児科定点)41, 成人麻しん(基幹定点)1

麻しん全数発生報告事業開始以前のデータについて、報告週別に集計したものを下記に掲載します。

・麻しん(15歳未満) 3例

・成人麻しん 0例

	第17週	第18週	第20週
報告数	1例	1例	1例
年齢階級	6ヶ月～11ヶ月	3歳	10～14歳

T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成19年第34週

疾病,保健所別報告数

平成19年8月20日～平成19年8月26日

データ入手日:平成19年8月31日

	(※)インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん(※)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	(※)クラミジア肺炎	成人麻しん	
男女合計																						
北	-	-	-	-	3	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	-	-	1	1	1	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	-	-	-	5	-	-	3	3	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	-	-	-	7	1	-	-	3	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	19	-	-	-	1	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	-	-	-	5	-	1	-	2	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	1	6	16	4	1	-	2	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	1	-	-	-	13	1	2	-	1	-	-	1	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-
伏見	-	-	-	2	24	4	-	-	3	1	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	-	1	19	-	1	-	7	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	1	-	1	11	113	11	6	3	25	1	-	26	-	8	-	2	-	-	-	-	-	-

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

疾病,保健所別定点当たり報告数

	(※)インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん(※)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	(※)クラミジア肺炎	成人麻しん	
男女合計																						
北	-	-	-	-	0.75	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	-	-	0.33	0.33	0.33	-	-	0.33	-	-	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	-	-	-	1.25	-	-	0.75	0.75	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	-	-	-	2.33	0.33	-	-	1.00	-	-	1.00	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	9.50	-	-	-	0.50	-	-	1.50	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	-	-	-	1.25	-	0.25	-	0.50	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	0.50	0.50	-	0.50	-	-	-	-	0.50	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	0.33	2.00	5.33	1.33	0.33	-	0.67	-	-	3.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	0.13	-	-	-	2.60	0.20	0.40	-	0.20	-	-	0.20	-	0.60	-	1.00	-	-	-	-	-	-
伏見	-	-	-	0.29	3.43	0.57	-	-	0.43	0.14	-	0.43	-	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	-	0.25	4.75	-	0.25	-	1.75	-	-	0.25	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	0.01	-	0.02	0.27	2.76	0.27	0.15	0.07	0.61	0.02	-	0.63	-	0.20	-	0.20	-	-	-	-	-	-

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成19年第34週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成19年8月31日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※)	-	-	-	-	-	1
RSウイルス感染症	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	10	14	8	12	3	1
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	11	17	8	7	7	11
感染性胃腸炎	154	131	132	126	99	113
水痘	20	10	14	9	7	11
手足口病	21	25	21	17	9	6
伝染性紅斑	7	10	8	2	1	3
突発性発しん	23	18	13	17	7	25
百日咳	-	-	-	1	1	1
風しん	2	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	154	156	104	85	30	26
麻しん (※)	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	6	12	12	4	10	8
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	8	2	5	14	4	2
細菌性髄膜炎 (※)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※)	-	-	-	-	-	-
成人麻しん	-	-	-	-	-	-
合計	416	395	325	294	178	208

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※)	-	-	-	-	-	0.01
RSウイルス感染症	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	0.24	0.34	0.20	0.29	0.07	0.02
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.27	0.41	0.20	0.17	0.17	0.27
感染性胃腸炎	3.76	3.20	3.22	3.07	2.41	2.76
水痘	0.49	0.24	0.34	0.22	0.17	0.27
手足口病	0.51	0.61	0.51	0.41	0.22	0.15
伝染性紅斑	0.17	0.24	0.20	0.05	0.02	0.07
突発性発しん	0.56	0.44	0.32	0.41	0.17	0.61
百日咳	-	-	-	0.02	0.02	0.02
風しん	0.05	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	3.76	3.80	2.54	2.07	0.73	0.63
麻しん (※)	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	0.15	0.29	0.29	0.10	0.24	0.20
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.80	0.20	0.50	1.40	0.40	0.20
細菌性髄膜炎 (※)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※)	-	-	-	-	-	-
成人麻しん	-	-	-	-	-	-
合計	10.75	9.79	8.30	8.23	4.64	5.21

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。